

第二四九回松山市観光俳句ポスト

第二四九回開函

「紅日」主宰 三好 曲 選

特選三句

若鮎のきらりと跳ねて水速し

京都府綾部市 梅原 勝

湯上りに柚子の香まとふ初鯉

東京都荒川区 遠藤 紀明

風薫る草田男の墓細き道

東京都あきる野市 広藤 明人

入選二十句

新緑の札所を巡る老い二人

千葉県白井市 石井 和恵

蛙鳴く湯づきの堀を散策す

和歌山県御坊市 石本 とき江

夕涼み潮のかほりにさそはれて

愛媛県西予市 伊藤 栄子

ここちよし愛媛の夜の夏の風

神奈川県横浜市 岩間 奈津子

即興の歌声を聞く螢の夜

兵庫県宝塚市 大西 和子

初夏の朝道後温泉客しきり

熊本県熊本市 緒方 進一

堂々と焼酎お替はり遍路宿

大分県大分市 奥野 智士

子規堂の坊ちゃん列車蟻走る

青森県平川市 小田切 力

道後までちんちん電車青葉風

東京都文京区 梶田 進

夏来たる城を借景道後の灯

神奈川県川崎市 加藤 英行

梅雨空や松山城は雲の上

東京都八王子市 黒須 弘道

子規虚子の生地の街の薄暑かな

香川県善通寺市 佐藤 武子

花みかん伊予の城下の比翼塚

高知県須崎市 徳永 逸夫

伊予弁の町並歩く青葉風

兵庫県神戸市 徳見 淳子

いにしへも今も蝉聴く松山城

香川県木田郡 船岳 聡志

(市内)

船降りて帽子押へし青嵐

愛媛県松山市 一色 眞由美

伊予の湯に脱ぐ秋冷の女下駄

愛媛県松山市 西山 たかし

十薬のひつそりと咲く庚申庵

愛媛県松山市 向井 七子

(十五歳以下)

かたつむり葉っぱの上でお昼寝だ

福岡県直方市 重信 亘佑

さくらんぼ子どものほほもまつかつか

三重県松阪市 松浦 友香

投句総数 一五〇五

市外 一二九五

市内 二一〇

投句者総数 八七九

市外 七七四

市内 一〇五

開函日 平成二十三年七月三十一日